

テーマ：『 科学する心と力をもった子どもを育成する「熊西プロジェクト」 』

北九州市立 熊 西 小学校

Tel. 093-641-0526 担当者： 池田洋士（教務）



■実践内容：

本校では、科学が好きな子どもの姿として「知的な気付き」と「知的好奇心」をもった子どもを掲げています。これは、情緒的な気付きにとどまらず、児童が自らの思いや願いをもって取り組んだ活動や体験を通して、実感を伴って得られる“気付き”であり“好奇心”です。そして、生活科、理科の学習の中でそれぞれ「語り合い」、「対話」を問題解決に向けての手がかりとしながらプロジェクトを展開していきました。また、通称“むしむしランド”の改良も行いました。これまで、カブトムシやクワガタムシの飼育小屋として活用してきた昆虫舎をモンシロチョウやアゲハの飼育ができる昆虫舎へと3年生が中心となって改良し、3年理科単元「チョウをそだてよう」「こん虫をしらべよう」の学習に活用していきました。さらに本校のフィールドワークの柱である“くまにしびオトープ”の改良も行いました。3年前から続いていた池の水漏れを修理するのに合わせ、全面的な改良を行いました。子ども、保護者、教職員を始め、地域の方々にも呼びかけ、みんなの手で作り上げました。今後、さらに活用していく予定です。

■実践成果：

本校がめざしている授業、「子どもの心の動きと連動した主体的な問題解決」が、科学的な見方や考え方を高め、学ぶ意味や価値を見いだす子どもを育てることが明らかになった点が、大きな成果である。

■実践ポイント：

さまざまな場面での子どもの驚き、感動、喜び、心の動きなどの“心の働き”に支えられた問題解決の姿そのものに重点をおき、豊かな心と確かな力をもった子どもの育成を図る。